

日本行動計量学会第 42 回大会開催のご案内

ご挨拶

このたび、第 42 回大会を東北大学川内北キャンパスで開催させていただくことになりました。仙台での開催は、1997 年 9 月の第 25 回大会以来、17 年ぶりということになります。第 25 回大会でも東北大学が「開催校」となりましたが、会場は仙台市戦災復興記念館でした。東北大学のキャンパスでの開催は、初めてのことになります。

東北大学にはいくつかのキャンパスがありますが、川内北キャンパスを会場に選んだのには、いくつか理由があります。第一に、市の中心部とは広瀬川を挟む形になっているため、静寂な環境の中で大会を開催することができそうだということです。第二に、その一方で、平日であれば仙台市営バスを利用したアクセスが便利な場所にあります。時間帯にもよりますが、JR 仙台駅からは 15 分程度です。第三に、「全学教育」のための講義棟や食堂等が中心のキャンパスですので、多くの方にお集まりいただくのに適していると考えました。

仙台の 9 月上旬というと、まだ残暑が厳しいこともありますが（特に近年はその傾向が強いようにも思いますが）、それでも、東北地方ではまさに初秋と言える時期です。大会前後に、仙台市内あるいは近辺の街を散策されるご予約を立てることができるようでしたら、ぜひおすすめしたいと思います。

また、2011 年 3 月 11 日の東日本大震災では、仙台市も大きな被害を受けましたが、「東北地方の中核都市」であるためか、他の被災自治体に比べると、復興の面では恵まれているように思います。とはいえ、仙台市の中心部から離れると、特に仙台市から外に出ると、まだまだ震災の爪痕が残っているところも多いと言えます。復興のために観光を重視しているところもあれば、それ以外の様々な支援を依然として必要としているところもあります。学会前後のご予定をお考えいただく際に、このような被災地の状況に関しても、情報収集をしていただければ、より充実したご旅行となるのではないかと考えております。

本大会が有意義な会となりますよう、実行委員一同、最善を尽くす所存です。多くの皆様のご発表、ご参加をお待ち申し上げます。どうぞよろしく願いいたします。

日本行動計量学会第 42 回大会 実行委員長
木村邦博（東北大学大学院文学研究科）

日本行動計量学会第 42 回大会について下記のとおりご案内します。

1. 開催期日と会場

日時：2014 (平成 26) 年 9 月 2 日 (火) ～ 5 日 (金)

場所：東北大学川内北キャンパス (仙台市青葉区川内 41)

東北大学百周年記念会館川内萩ホール (仙台市青葉区川内 40)

アクセス：<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/index.html>

(大会用のアクセスページは後日更新予定です)

大会 Web ページ URL: <http://bsj.wdc.jp.com/2014/>

大会実行委員長: 木村邦博(東北大学文学研究科)

2. スケジュール

2/24 (月)	Web 開設
4/4 (金)	特別セッションの企画募集開始 一般発表申込開始 抄録原稿受付開始 チュートリアルセミナー参加申込開始 大会参加事前申込開始
5/16 (金)	特別セッションの企画募集締切
6/2 (月)	一般発表申込締切
6/10 (火)	抄録原稿提出締切
8/1 (金)	プログラム公開・プログラム冊子会員送付予定
8/12 (火)	大会参加事前申込締切
9/2 (火)～5 (金)	第 42 回大会 (2 日はチュートリアルセミナー)

3. 日本行動計量学会第 42 回大会公開シンポジウム

テーマ：東日本大震災被災地における住民の意向の把握とその課題

日時：2014 (平成 26) 年 9 月 4 日 (木) 午後

場所：東北大学百周年記念会館川内萩ホール

概要：今後の復興に向けて被災地の住民の意向をどう把握するのか、今回の震災特有の課題は何なのか、行政・マスメディアなど、それぞれの観点から議論します。

第一部 基調講演 (予定)

「東日本大震災に対する政治の使命」(交渉中、講師は復興に携わった政治家を予定)

第二部 シンポジウム 「東日本大震災被災地における住民の意向の把握とその課題」

コーディネータ 河村和徳 (情報科学研究科)

パネラー 被災地自治体担当者 [被災者の意向把握の課題] (予定)

マスメディア関係者 [取材および世論調査での苦労等] (予定)

調査事業者 [被災地調査で得られたデータ収集のノウハウ] (予定)

4. 日本行動計量学会第 42 回大会チュートリアルセミナー

テーマ：

消費者行動データ分析のための構造モデリング——入門からビッグデータ活用まで

講師：石垣司先生 (東北大学大学院経済学研究科)

日時：2014 (平成 26) 年 9 月 2 日 (火) 午後

概要：ビッグデータ時代の潮流を受け、消費者行動を理解するためのデータ分析は学术界・産業界の両者においてますます重要なトピックとして認識されている。本チュートリアルセミナーでは消費者行動データ分析のための構造モデリングの理論と実践について解説する。(詳細は大会 Web ページをご覧ください)

5. 各種申し込み手続き、諸費用、問合せ先、第 2 号通信、その他

大会 Web ページをご覧ください (URL: <http://bsj.wdc.jp.com/2014/>)

第 2 号通信以降は会員メール、大会 Web ページでお知らせします。